

# 日本人研究者のための

**絶対できる**

English Presentation Skills  
for Japanese Scientists

# 英語プレゼンテーション



Preface .....	3
本書の特徴 .....	8
<b>Checklist</b> .....	9
<b>Chapter 1</b> スクリプトの作成 .....	15
<b>A</b> 構成 <b>B</b> 語彙 <b>C</b> 文法	
<b>Chapter 2</b> スライドデザイン .....	49
<b>A</b> 適切な視覚補助 <b>B</b> 見やすさ <b>C</b> できる限りシンプルに <b>D</b> 意味を明確にするための画面構成 <b>E</b> バランスのよい配置 <b>F</b> 文献 <b>G</b> テキストを読みやすく	
<b>Chapter 3</b> 言語によるコミュニケーション .....	67
<b>A</b> 全般的な発話の調子 <b>B</b> 音量 <b>C</b> 速度 <b>D</b> 単語の発音 <b>E</b> 強調 <b>F</b> イントネーション <b>G</b> 間を置く	
<b>Chapter 4</b> 非言語コミュニケーション .....	99
<b>A</b> 外見 <b>B</b> 緊張感 <b>C</b> オープンコミュニケーションスペース <b>D</b> オーディエンスとの交流 <b>E</b> 身振り <b>F</b> レーザーポインターの使用	
<b>Chapter 5</b> 質疑応答セッション .....	119
<b>A</b> 事前のできる対策 <b>B</b> 質問者との基本的なインターアクション <b>C</b> 難題	
<b>Appendix</b> .....	133
<b>0a</b> : 評価にビデオを使う際の注意点	<b>3d</b> : ストレスパターン①: 単語内のストレス位置
<b>1a</b> : キーワードを定義する5つの方法	<b>3e</b> : ストレスパターン②: 内容語と構造語, 英語のリズム
<b>1b</b> : 会話調に近づくために: 接続詞と動詞	<b>3f</b> : インターネット有効活用術②: 発音
<b>1c</b> : 状況別 よくある100の言い回し	<b>3g</b> : ストレスパターン③: 複合名詞, その他の語句
<b>1d</b> : 繰り返しを減らす3つの編集テクニック	<b>3h</b> : 発音の違いをもっと詳しく
<b>1e</b> : 文法をチェックする9つのポイント	<b>3i</b> : 構造語を強調する3つの場合
<b>1f</b> : インターネット有効活用術①: 連語	<b>3j</b> : 新しい情報と古い情報
<b>1g</b> : 冠詞をもっと詳しく	<b>3k</b> : 難しい題材の“間”のとり方
<b>2a</b> : アニメーションを使う際の注意点	<b>3l</b> : マークアップされたスクリプト
<b>2b</b> : 短文化する5つの編集テクニック	<b>4a</b> : 身振りをもっと詳しく
<b>3a</b> : 発音のマークアップ①: Wordで効率よくマークする	<b>5a</b> : リスニングを鍛えるために: ポッドキャストとTED
<b>3b</b> : 発音のマークアップ②: ミニマム版	<b>5b</b> : 質疑応答セッションのスクリプト
<b>3c</b> : 発音のマークアップ③: 練習・バックアップ版	
<b>索引</b> .....	199